

REPORT

「フロマエcafé&gallery」を訪ねました

環境ライターであり、そらべあ基金理事を務めている箕輪弥生さんが、環境に配慮したカフェ、「フロマエCafé&ギャラリー」を東京・西日暮里にオープンしました。そこで今回は、箕輪さんがこだわった「メニュー」「内装」「エネルギー」そして「地域交流」についてお話をうかがってきましたのでご紹介します！



photo by Yoko Ueno Lewis

使われなくなった古材をテーブルや棚にアップサイクル。テーブルをくっつけると、木目がびったり合うものもあるので、探してみるのも楽しいです。他にも、床材は岡山県・西粟倉の間伐材、イスはイタリアのユーズド製品を使用するなど、資源の循環を意識したお店づくりとなっています。



料理の食材はオーガニック野菜やお米を使い、特に野菜は関東圏内で生産された露地ものを多く提供。素材そのものの味の濃さに驚きました。お店のロゴマークが入ったデリプレートは、高知県の間伐材を使用しています。



珪藻土壁は左官体験ワークショップを開催し、一般の方々と一緒に塗りながら楽しみながら塗りました！お店の前にある銭湯のように、地域の人々が交流する場にしたいとのこと。



飲食店ではめずらしい、調理場やトイレで使うお湯の加温に「太陽熱給湯器」を採用しています。



フロマエ Café& ギャラリー

〒116-0013

東京都荒川区西日暮里 4-21-7 コート池上 1 階

TEL/FAX03-5834-7126

西日暮里駅(JR、地下鉄千代田線)

より徒歩約3分

<http://furomae.jimdo.com/>

twitter や facebook でも最新の情報を発信しています！

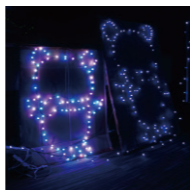
そらべあ基金 twitter

http://twitter.com/solarbear_staff

そらべあ基金 facebook

<https://www.facebook.com/solarbear.staff>

そらべあ基金
事務局の
つぶやき



ワイヤーと LED を組み合わせて作った「そらべあイルミネーション」

そらべあサポーターズクラブのみなさま、こんにちは！ そらべあ基金の湯山です。さて今回は、「そらべあ学生事務局」についてご紹介したいと思います。すでにご存じの方もいらっしゃると思いますが、そらべあ学生事務局とは、NPO 法人そらべあ基金から生まれた有志の学生により運営されている団体です。2008年に結成され、これまでに、大学の学園祭へのグリーン電力証書の導入や、企業の協賛を得てワークショップを開催するなど、学生ならではの視点と行動力で活動を行ってきました。そして今年の取り組みは、空気が澄んでいるいまの時期だからこそキレイに輝くイルミネーションを、太陽光発電による電気だけで灯そうというチャレンジです！ 太陽光発電は昼間の太陽の光で発電しますが、イルミネーションは闇夜であるほど映えるもの。光と闇で創りだすソーラーイルミネーションは、一体どんなものになったのでしょうか！ 次回のそらべあ便りでレポートします。ご期待ください！ また、学生事務局のメンバーによるブログもあります。ぜひ、彼らの今後の活動にもご注目ください。

「そらべあ学生事務局のブログ」<http://ameblo.jp/sorabea-stu/>

そらべあサポーターズクラブ

オフィシャルサポーター：ソニー(株)、ソニー生命保険(株)、

ソニー損害保険(株)、ソニーマーケティング(株)

サポーター：(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント、(株)ホンダソルテック、(株)毎日新聞社

応援団：8社

個人・ファミリーサポーター：60名

(2013年12月12日現在)

読み終わったら、捨てずに回し読みしてね。



そらべあ便り

Sorabear Newsletter Vol.18

そらべあ発電所、
ついに40基に!

©Shinzi Katoh

そらべあ便り vol. 18

2013年12月発行

編集：加藤聡

デザイン：小池隆夫

NPO 法人そらべあ基金

〒105-0004

東京都港区新橋2-5-6

大村ビル 8F

TEL：03-3504-8166

FAX：03-5157-3178

<http://www.solarbear.jp>

www.solarbear.jp

REPORT

そらべあスマイルプロジェクト寄贈記念式典 鹿児島県枕崎市「立神保育園」／茨城県水戸市「ひまわりのお家」

そらべあ基金が訪れたのは、100名以上の園児が在籍する鹿児島県枕崎市の「立神保育園」と、NPO法人が運営する茨城県水戸市「ひまわりのお家」の2つの園。そらべあ発電所の寄贈記念式典は、太陽光発電設備の完成を祝う催しであるとともに、子どもたちの気づきや、豊かな感性を養える機会にできるよう、毎回、趣向を凝らした環境授業を行っています。

開会后、間もなくして登場した「そら」と「べあ」に、子どもたちは大喜び。しかし、そらべあの紙芝居の読み聞かせが始まると、2匹の悲しい物語を真剣に見入っていました。

さて、そらべあの涙の理由がわかったところで、次は地球温暖化に関するクイズがスタート！ とはいえ、いきなり地球規模の問題を園児たちに答えてもらうのはちょっと難しい。そこで、「節電」「節水」「物を大切に使う」といった、子どもたちにもできる身近なエコアクションをクイズの中に盛り込みました。これら普段の行動の積み重ねが、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を減らし、北極の水が溶けるのを止めることができることを理解してもらうことを目指しています。

続いて行ったのが、手回し型の発電機を使った発電体験。勢いよくハンドルを回すことで、豆電球は小さな明かりを灯します。

「夜、本を読むのに、ずっと回し続けることはできるかな？」との質問に、子どもたちは自分たちなりに考え、「できる!」「無理!」といった、答えを導き出してくれました。大人でさえ、コンセントの向こう側からやってくる電気を、普段、意識することはありません。実際に発電してみることで、電気をつくる大変さ、大切さを知ってもらうきっかけになればと思っています。

最後は、参加者全員での記念撮影と、そらべあとのふれあいタイム。「かわいい!」「泣いてる〜」「ふわふわしてるね!」「今度はお母さんといっしょに来てね!」子どもたちは大興奮で、ぎゅっと抱きついたり、涙をぬぐったりと、つかの間の交流を楽しんでいました。

2008年4月にスタートしたそらべあスマイルプロジェクトは、今回の2園の実施で、寄贈した発電所の数が40基を超えました。今後も再生可能エネルギーの普及と、地球環境の大切さを学んでもらうことを目的に取り組んでいきます。



左：そらべあが見つめるなか行われた紙芝居の朗読／中：絵本をもらって「ハイ、チーズ!」／右：お礼にいただいた手作りの花束。なんとコーヒーフィルターを再利用して作られています



REPORT

太陽光発電組み立てワークショップ 「中津川 THE SOLAR BUDOKAN 2013」 「世界一行きたい科学広場 in 浦安 2013」

3.11以降、再生可能エネルギーへの関心の高まりや、災害時の電源確保を目的に、全国各地でミニ太陽光発電の自作ワークショップが盛んに行われています。そらべあ基金でも今年より、同様の出前ワークショップをスタート。9月21日、22日には岐阜県中津川市で行なわれた「中津川 THE SOLAR BUDOKAN 2013」で、11月23日は千葉県浦安市の東海大学付属高等学校中学校で開催された「世界一行きたい科学広場 in 浦安 2013」で、それぞれブース出展を行い、多くの見学客や参加者を集めました。

世界一行きたい科学広場 in 浦安 2013

子どもから大人まで、見て、聞いて、体験して、科学の楽しさや不思議さを体験できる科学イベント。多くの企業やNPOが充実したサイエンスプログラムを用意するなか、そらべあ基金では、太陽光発電システムの組み立てを体験しながら、発電の仕組みや電気の性質などを、子どもたちに伝えました。また、お父さん、お母さんたちからの質問も多く、太陽光発電に対する関心の高さが伺うことができた1日でした。

左：(浦安) 初めて触る太陽光パネルに興味津津の子どもたち／右：(中津川) 組み上がった発電キットに「自分の家でも作ってみたい!」と参加者

中津川 THE SOLAR BUDOKAN 2013

2012年12月20日、アーティスト・佐藤タイジさんの呼びかけによって実現した太陽光発電による電気を使った音楽フェス「THE SOLAR BUDOKAN」。今度は野外でのソーラーフェス成功を目指し、日本の野外フェス誕生の地・岐阜県中津川市に場所を移して、「中津川 THE SOLAR BUDOKAN 2013」は開催されました。来場者の多くは、ライブが太陽光発電で運営されていることを知っていても、電気やエネルギーについて詳しくない人たちです。それでもブースに立ち寄り、組み立て体験に参加してくれた人たちからは、「楽しい!」という感想をいただくことができました。今後も多くの人たちに、太陽光発電や再生可能エネルギーの可能性を「体験」という形で広げていきたいと考えています。





©Shinzi Katoh

1

2

3

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					